

発行：グリーンコープ生協さが理事会

～「住んでる街を住みたい街に」 かなげよう未来へ～

## 11/22 ふくしまつり (2023年度福祉活動組合員基金助成活用報告会)

理事会・ふくしまつり実行委員会 主催



福祉活動組合員基金(100円基金)助成活用報告会「ふくしまつり」を、ゆめぷらっと小 City で開催しました。

四年ぶりの対面での開催、会場は終始活気に満ちていました。

助成団体からのパワーポイントを使っての活動内容や、活用報告を直接聞くことができ、毎月拠出している100円が地域の福祉活動に大切に生かされていることを実感しました。

また、マルシェや昼食のパンの提供には地域の福祉団体や過去に助成を通して繋がった福祉団体に参加していただきました。食事をしながら、買い物をしながら楽しく交流ができ、助成後も繋がりが感じ嬉しく思いました。「ふくしまつり」は、参加された一人ひとりが地域福祉について理解を深め、自らできることを考える場になったと思えました。

(福祉活動組合員基金運用委員長 山村隆子)



立花高等学校(福岡県福岡市)の校長・齋藤真人氏を講師にお迎えし、記念講演「いいんだよ」は魔法のこぼ～寛容の精神が醸成される社会へ～と題してお話いただきました。

不登校自立支援に取り組む立花高校で校長先生として色々な生徒と接し、実際に対応してきた経験からお話しされました。

「あたりまえの『ワク』を外しましょう。違っていい、同じでもいい」

子ども達が安心して個性を發揮出来るよう、大人達が「おおらか」であること、そのために必要な「共感的理解」について考えるお話でした。

「出来ていることに対し『よく出来たね』と伝えることをしていますか？出来ていることが当たり前、出来ないことを頑張れと言っていないですか？」

「出来ないことを嘆くより、出来ることを認めていこう!!」子ども達に朝起きられたこと、朝ごはんを食べられたことでもよく出来たと伝えることの大切さに気づききっかけになりました。

不登校になった子どもの気持ちに寄り添い「行かなくてよか」とその子どもが自分で考えて動けるようになるのを見守ることの大切さをお話しされました。参加者はお話を聞きながら泣いたり笑ったり、それぞれの心に届く講演内容でした。

(福祉委員長 佐々木裕紀)

### 【参加者感想】

●齋藤先生の学校は、子どものありのままを受け止めて、愛のある環境だと感じました。そして、「よかよか、よく頑張ってる、それでいいんだよ」の言葉を伝授してもらえたことも心に残っています。

●朝起きられた、学校に行けた等あたりまえの事をあたりまえに思わずよく頑張っているねと誉める、伝える。おにぎり作りの写真が印象的で、一人ひとりの個性を好きな様に作ったおにぎりの様に認める事の大切さを教えていただきました。

●寛容になることが本当に大切だと思えました。



『認定NPO法人シャプラニール=市民による海外協力の会』は、南アジア・日本で、市民の立場から、「誰も取り残さない」という精神で貧困をなくす取り組みを続けている団体です。

シャプラニールのダハルさんから、現在のネパールやバングラデシュの様子を聞くことができました。特に、シャプラニールが力を入れている家事使用人として働く少女たちのことを詳しく聞きました。児童労働はなくそうと思ってすぐなくせるものではなく、少しずつ、徐々に地域の人々の理解を得て、社会を変えていく必要があるとわかりました。シャプラニールは、家事使用人として働く少女たちの学びの場として支援センターを運営しており、読み書き計算だけでなく、性教育や子どもの権利など、生きるために大切なことを教わる場を提供しています。グリーンコープも協力している「ステイ生活」は、はがき(書き損じもOK)、切手(使用済みもOK)など、不用品を送ることで寄付になる取り組みです。はがき10枚(500円相当の寄付)で、この支援センターを1日運営できる費用相当になるそうです。

今年は、3月4日週に、カタログと一緒に「ステイ生活」の封筒が配布されます。年賀状をやめるご家庭も多くなっており、書き損じはがきも集まりにくくなっているそうですが、お家を探せば不用品が眠っているかも。封筒裏面の説明をお読みの上、是非寄付を、よろしくお願ひします。我が家も、外貨など出てきそうなので、探してみます!

(広報担当 野田宏美)

## こども基金について

グリーンコープこども基金をご存知でしょうか?

「子どもたちの心や身体の健康と幸せを守りたい」という願いをかたちにしたのが「一般財団法人グリーンコープこども基金」です。

基金の主な財源として、GC菓子パン類の購入で1商品につき3円の寄付、カタログ古紙回収事業の収入、共済たすけあい活動の助成金などがあります。

また、「もっと手軽にカンパしたい」という要望を受け、カタログGREENの共同購入申込書の申込番号「014」で、いつでもカンパできるようになっています。

その財源をもとに、子どもの居場所を運営したり、こども食堂へ食材を提供したりしています。中には組合員が運営にかかわっているところもあります。

お一人ずつのほんの少しの気持ちが子どもたちの支援につながりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

(福祉委員会)



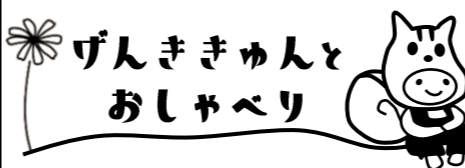
### グリーンコープさが 今後の予定

■3/12(火) 託送料金学習会:ゆめぷらっと小 City (ハイブリッド)

■3/23(土) カーボンニュートラルEXPO:マリンメッセ福岡

※EXPO特設サイトはこちら➡

学習会に参加をご希望の方は、後日配布のチラシから、または、こちらからお問合せフォームにて、お申込みください。



みなさんのGC押し商品を是非教えてください! 商品名と、お気に入りポイントや利用のエピソードなど、存分に推しを愛ってください!

応募者の中から抽選で、GC商品プレゼント! 応募は、こちらから

Facebookははじめました!(内容は、Instagramと同じです。) Instagramをされていないお友達に、ご紹介よろしくお願ひします。

### げんきくんニュース お問合せフォーム

お問合せ、各種お申込み・応募、感想、ご意見、なんでもお寄せください!



←グリーンコープさがSNS

げんきくんニュース カラー版➡



Facebook Instagram



げんきくんにも  
会えたよ!



何が当たりましたか?



骨密度、いくつ?

生活再生相談室  
へのカンパ、  
ありがとう  
ございました!



福祉体験も!



ご来場、  
ありがとう  
ございました!

# 12月3日(日) 佐賀駅前交流広場

# グリーンコープ フェスタ 2023



はこまめ屋の  
コーヒーも、  
大人気!



11月15日(水)佐賀県減農薬研究会との交流会を行い、生産者と一緒にしめ縄を作りました。しめ縄は、佐賀県減農薬研究会で作られた赤とんぼ米の貴重なワラを使用しています。産直赤とんぼ米の生産の様子や減農薬のこと、環境についてなど普段聞くことができない貴重なお話を聞き、赤とんぼ米について深く知ることができました。

そして12月3日(日)グリーンコープフェスタ内でしめ縄作りワークショップを開催しました。しめ縄は佐賀県減農薬研究会で作られた赤とんぼ米の貴重なワラを使用しています。当日は生産者の皆さんも様子を見に来てくださり、和やかに楽しくしめ縄を作りました。皆さんの個性あふれた素敵なデザインのしめ縄が完成しました。  
(おすすめ委員長 片瀨千恵)



試食や試供品  
たっぷり!

目標の20名を超える、  
新規加入がありました。  
グリーンコープへようこそ!



お得特典、  
たくさん!



【おすすめ委員の感想】  
・みんな笑顔で参加していただいたことが一番よかった。  
・毎年の定番イベントにしたいです。  
・みんな楽しそうに作られて、こちらも楽しかったです。  
・次回はもっと広い場所でできたらいいなと思いました。

しめ縄作り生産者交流会・しめ縄作りワークショップを行いました!